



広報まちづくりかなうら

第 11 号
令和2年1月1日
金浦地区まちづくり
自治協議会広報部会

「みんなが住み続けたいと思う」
“まちづくり”を目指すために
防災・減災意識を高めましょう

会長 岡本 重文



平成から令和に改元され、まさに新時代の幕開けとなる新年を迎えるました。金浦地区的皆様には清々しい新年をお迎えのことと拝察し、お慶びを申しあげます。

さて平成最後の年は、7月豪雨により真備地区をはじめ当地区においても大きな被害を被りましたが、令和に入ても台風15～19号等により、関東東北地方12都県の広範囲に亘って死者・行方不明者が100名を超える想像を絶する大災害が続きました。また、沖縄県では県のシンボルでもある「首里城正殿など7棟」が焼失するなど、国内のいたるところで大規模被災が見受けられ、まさに他人事では済まされない状況となっています。

私たちまちづくり自治協議会も発足当時から、「防災・減災に関する施策」に対しては最重要課題としてとらえて取り組んでまいりました。土砂災害等に対するハード面の対策は、市や県にお願いしなければまち協単独では解決できない事項がほとんどですが、各地区ごとに実施しているソフト面の対策である防災・減災に関する研修会や避難訓練などに参加することで、これらの知識を習得すると共に、意識の高揚も図れるものと考えています。

今後も、まち協で実施可能な「防災・減災に関する施策」は、積極的に推進していく所存です。地区皆様のご意見、ご支援を賜りますようお願い致しまして年頭のご挨拶といたします。

令和元年度 まち協 各部会ごとの活動状況の紹介

1 企画部会

(1) 公民館事業との共催

本年度も、公民館の主要3行事である“敬老会”“地区民体育祭”“芸能文化祭”に対して、人的及び資金的支援を通して共催し、地域活性化の一翼を担うことができました。人的支援では、各行事に対して各地区1名ずつ、延べでは21名を派遣し、公民館役員等と協働して各行事の運営に携わりました。

ア 敬老会；令和元年9月8日（日）於・金浦小学校体育館

敬老会は、公民館ほか、社会福祉協議会・行政協力委員・民生児童委員及びまち協の5団体が共催する地区の一大イベントです。本年度の招待対象者（77歳以上）は、地区全体で860名。この内、実参加者は149名（17.3%）でした。

10時からの式典に続き、金浦幼稚園・新川保育所・金浦保育園の園児による唄・踊り・肩たたきの後、玉島の演芸ボランティア「マジックシンガーズ」のコスプレ衣装を着た唄・マジック等の演芸で大いに盛り上がりました。



イ 地区民体育祭;令和元年9月29日(日) 於・金浦小学校グラウンド

今年で39回目を迎えた地区民体育祭は、雨で流れた昨年度とは違い、ちょうど良い運動会日和に恵まれました。

6地区対抗の形で行われた体育祭の種目は、得点競技のみならず、お楽しみ競技や大黒踊り等、バラエティーに富んだもので、各地区では、子供から大人まで競技に、応援にと大いに盛り上がり、地区民同士の絆を深めた一日となりました。

なお、まち協からは、参加賞品としてPRグッズの提供も行いました。



【体育祭とまち協活動啓発グッズ】

ウ 芸能文化祭;令和元年11月24日(日) 於・金浦小学校体育館

芸能文化祭は、地域の皆様の生涯学習の発表の場として、また子供達の作品展示の場として毎年開催されていますが、今年で13回目となります。本年も、絵画・書道・写真・パッチワークや華道など力作が揃いました。

また、ハーモニカ奏者の「藤井和男」氏をお招きして、懐かしい昭和の歌や金浦小学校5年生による合唱をはじめとして地元有志によるカラオケなどで楽しい一時を過ごしました。



【金小5年合唱と藤井氏】

(2) まちづくり協議会を構成する各種団体とのあり方についての協議を開始

金浦まち協が発足して本年度が8年目。令和の時代に入ったこの時期に改めてまち協活動のこれまでを振り返り、これから目指すべき形を議論することは、大いに意味のあることだと考えます。そのような認識のもと、企画部会では、本年度からまち協を構成する各種団体とのより良いあり方についての協議を開始しました。

現在の金浦地区まち協は、各地区代表の代議員36名と各種団体から選出された代議員13名が5つの部会(企画・防災・広報・交通防犯・環境)のいずれかに所属し、これに事務局員1名を加えた合計50名の体制で活動しています。

今後の協議では、平成22年1月に市が策定した冊子『笠岡市地縁組織との協働システム構築計画』の中で、まちづくり協議会は、「地域住民が話し合い、地域で分野や活動を横断・調整する役割を担う」ことを目的にすると謳われていることを受けて、以下の3つの視点から議論を進めていきたいと思います。

- ① 各種団体から要望があれば、対等な立場に立って可能な限り支援する。
- ② 各種団体とまち協5部会の活動間で重複する部分を調整して効率化を図る
必要な場合には、互いの活動の連携・強化を図る。
- ③ 各種団体でカバーできていないすき間部分を埋める役割を担う。

なお、皆様方からもご意見・ご感想をお寄せ下されば幸いです。

2 防災部会

(1) 防災訓練の実施

ア 生江浜地区で昨年7月の豪雨による被災の教訓から避難訓練を行いました。

令和元年11月10日(日)9時、防災無線で避難訓練開始の放送により、非常用持出袋を持ち、避難誘導班と金浦消防団第3部の支援で、最寄りの緊急避難場所の生江浜会館と金浦公民館に、200人が避難しました。

避難にあたり、負傷者(仮想)2人、災害時避難行動要支援者(仮想)2人を緊急避難場所まで搬送しました。

2個所の避難場所で、次のメニューについて学びました。

- ・金浦消防団第3部による担架使用法の説明と実践指導
- ・防災委員による防災資材倉庫格納品と使用方法の説明
- ・笠岡市危機管理課職員による「真備町豪雨災害と教訓、警戒レベル」に関する防災講話

給食給水班による災害時でも温かく・美味しいカレーとお茶の提供があり、皆で美味しく頂きました。

今回の避難訓練をとおし、地域の繋がり、近隣の助け合いの関係構築の重要性を再認識したことから、今後も地域住民の声を反映した防災・減災活動に取り組みます。



【避難誘導班による住民避難支援】



【緊急避難場所に集合・安否確認】



【要支援者支援班による要支援者の避難】



【防災講話】



【担架・リヤカー操作体験】



【給食給水班によるカレーの提供】

(2) 初期消火活動の強化

ア ホース格納箱の金浦地区一斉点検を実施しました。

初期消火活動時、何時でも、迅速かつ確実に使用できるよう、ホース格納箱の格納品と外観及び設置位置等の点検調査を令和元年8月から10月にかけて行いました。

金浦地区内の点検・調査結果は次のとおりで、不良個所についてはまち協で年度内に改善・措置の予定です。



【ホース格納箱点検結果一覧表】

区分	地区	鉄北	鉄南	吉浜北	吉浜南	大河	相生	旭が丘	生江浜	計
ホース格納箱		7	10	15	4	8	2	0	15	61個所
点検 結果	格納品不良	0	0	0	0	0	0	0	0	0個所
	箱老朽化更改	0	0	0	0	0	0	0	2	2個所
	錆び塗装替	0	0	0	0	0	0	0	0	0個所
	錆び要観察	0	0	0	0	0	0	0	4	4個所

(注)生江浜地区:火消し君格納箱4個所含む

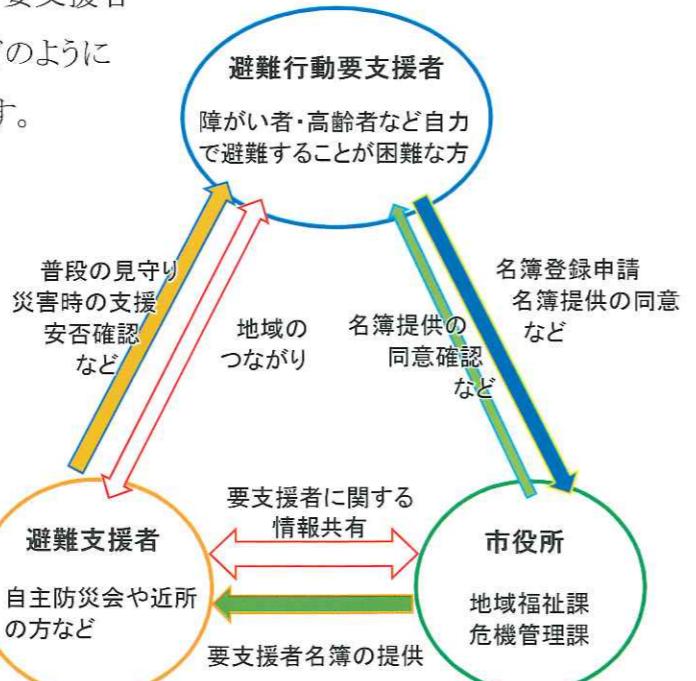
(3) 笠岡市のモデル地区として災害時避難行動要支援者の個別支援計画作成

災害発生時又はその恐れが高まった時に、要支援者の避難支援を迅速・適切に行うため、誰が・どのように支援するのか、予め決めておく必要があります。

このため、避難方法、避難時の支援者等に関する必要事項を示した個別計画を、笠岡市のモデル地区として金浦地区が令和2年2月目途に作成します。

個別支援計画の作成にあたっては、各地区毎に自主防災会を主体に、地域の特性や実情を踏まえ支援体制を構築することになりますので、関係組織代表者への説明会を10月に開催、順次、各地区で支援体制の構築と説明会を行います。

個別支援計画の作成にあたり、各地区の関係者及び地域住民の皆様のご支援、ご協力をお願いします。



3 交通・防犯部会

(1) 小学校児童下校時の見守り活動を継続して実施

交通防犯部会では、継続して小学校下校時の見守り、防犯パトロールを実施していますが、更に充実を図るために毎日の下校時間を関係隊員に周知徹底を行う等、小学校との連携を強化して、充実した活動を継続できるように取り組みを進めています。

また、見守り隊員も地域安全推進員をはじめ更生保護女性会員等各地域のボランティアの方々の協力をいただき現在総勢105名となっていますが、次世代を担う子供達を見守っていくため、さらにご協力いただける方々のお申し出をお待ちしています。



【吉浜お堂前信号機付近下校時見守り】



【大河アイレブン信号機付近下校時見守り】



【金浦地区での下校時見守り】

(2) 青色防犯パトロールの実施

青パト隊員は、個別の防犯パトロールに加え、金浦小学校の一斉下校時にも合わせて実施しており、現在、新入隊員1名を加えて24名の隊員が活動しています。

また青パト隊員は、地域における防犯意識の高揚を図り、犯罪の未然防止活動等に貢献するために3年に1回は県警察本部が実施する講習を受講する必要があります、8月4日(日)に更新講習会に出席し、一同気持ちを新たに活動に取り組む決意をしました。



【青パト更新講習会の模様】



【西水門手前一斉下校時青パト隊員の見守り】

(3) かさおか安全・安心まちづくりの出発式に青パト隊が参加

10月11日（金）～20日（日）の全国地域安全運動期間に合わせ、笠岡警察署で防犯功労表彰後、市長・警察署長が日頃の活動に対して謝意を述べられました。

その後、保育園児による鼓笛隊演奏後、協議会長の出発合団により小学校区内的パトロールを実施しました。



【かさおか安全・安心まちづくり出発式】



【出発合団待ちの隊員】

4 環境部会

(1) 地域の空家調査の現状について

本年10月から前回調査(2017年)をベースにして、各地区の行政協力委員に協力をいただきながら、まち協メンバーで再調査を実施しています。

空家を活用した「定住促進」は、笠岡市の重点取組事項となっており、当金浦地区の取組が空家バンク事業において、契約件数・異動(転入)人数共に市内NO. 1となりました。関係して下さった皆様に紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

また、危険家屋の取扱いについても笠岡市都市計画課とタイアップして取組を進めますので、引き続き地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。なお、再調査の集約は、令和2年3月末を目標にして取組みます。

(2) イノシシ被害の現状と対策について



【笠岡市農政水産課との打合せ】

9月6日(金)、笠岡市農政水産課の職員井上・松井氏にお願いし、「イノシシ被害の現状とその対策」についての勉強会を開催しました。

耕作放棄地が山林化し、イノシシの生息可能場所が増加していることが大きな原因となっているそうで、被害の通報件数も4年前の50件から平成30年では、210件まで増加しています。

同様に、イノシシの捕獲頭数も約100頭から約190頭に倍増はしていますが、被害を少なくするためには、地域ぐるみでの”ワイヤー柵・電気柵”的設置が効果的であると云うことでした。

柵の設置等については笠岡市の費用補助制度もありますので、詳しくは農政水産課まで問い合わせ下さい。

(3) 環境美化活動と環境美化功労者表彰

金浦中学生徒の「地域のゴミが目立つ」とのアンケート結果を受けて、まち協委員が率先し、各地区ごとにしかも定期的に清掃作業を行ってきました。

清掃作業により、各地域が綺麗になると共にゴミポイ捨てについても減少してきたことが伺えるのではないでしょうか



【金浦沖児童公園やカープミラーの清掃作業と集められたゴミ袋】

※ 笠岡市環境美化功労者とは

長年にわたり地域ボランティアで、ゴミ収集日の立会・道路の清掃・不法投棄の見回り等定期的に「地区の環境美化」に取り組んでいる方々で、笠岡市が認めた方が功労者となります。団体も同様です。

今年度は、令和元年10月19日に笠岡市民会館で行われた『笠岡市環境フェスティバル』で、金浦地区では下記11名の方々が表彰されました。

塙本 善哉様 塙本 信夫様 松成 一誠様 上田 寛治様
山本 ヨシ子様 佐藤 伸治様 佐藤 詔子様 島村 登紀子様
平田 道弘様 長安 和子様 阿草 勝正様 以上11名様
受賞 誠におめでとうございます。

環境・トピックス

“こうのとり”が吉浜「木之目池」に飛来しました



“こうのとり”は1950年に特別天然記念物に指定され、国内では2018年時点で、飼育個体が100羽 野外生息144羽と絶滅危惧種にも指定されている貴重な生物です。令和元年10月21日午後から22日の朝にかけて「木之目池」で確認されました。10月22日は天皇陛下の即位礼正殿の日にあたり、今年は地域に幸せをもたらしてくれるのではと笑顔の会話がはずみました。



10月21日16時30分頃 撮影:平井俊直さん提供



御存じですか！ XⅢ 更生保護女性会・女性会制度とは



更生保護女性会及びその制度とは

更生保護は、罪を償い、再出発しようとする人たちの立ち直りを助け、再び犯罪や非行を犯すことを防ごうとする活動です。社会の一員として立ち直るためには、本人の強い意志はもちろんですが、地域社会の理解と協力が不可欠です。地域に基盤を持つ「更生保護女性会」は更生保護への理解と協力を得るための運動を展開しつつ、女性の目線で、地域における犯罪予防の活動に加え、子供たちの健全育成のための子育て支援活動等をボランティアで行う団体です。

第69回 社会を明るくする運動 統一標語

『見てますか スマホじゃなくて みんなの心』

主な金浦更生保護女性会活動の紹介

統一標語パネル協賛へのお願い

施設訪問 ミニ集会(駐在所警察官のお話)

おかえり食堂の手伝い 麦茶・つゆの販売

金浦小学校・中学校 朝の挨拶運動

同上 下校時の見守り活動 等



編集後記

当誌の記事の”御存じですか”シリーズにより、まちづくり自治協議会の理事または代議員を務めていただいている各種団体等の紹介を行ってきました。

今回の更生保護女性会の紹介をもって、金浦小学校PTAを除いて関係する団体すべてを紹介しましたので、関連する団体の紹介は終了いたします。

創刊号から第11号にわたり、ご覧いただきありがとうございました。

今後は、防災に関するものなど皆様の知識を増やすことに寄与できるような情報を掲載したいと考えています。ご意見、アイディア等を頂戴できれば幸いに存じます。